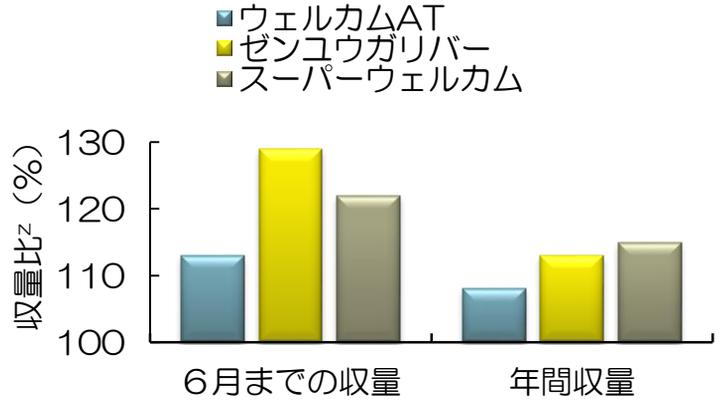


岡山県の露地栽培アスパラガスにおける トンネル被覆の増収効果



トンネル被覆の設置状況



トンネル被覆の増収効果

△トンネル区の収量を露地区の収量で割った値
(定植2～4年目の平均値)

開発のねらい

アスパラガス栽培では、露地栽培より雨除け栽培で収量増加が見込まれますが、岡山県では露地栽培が主流となっています。そこで、露地栽培でも比較的容易に設置できるトンネル被覆に注目し、増収効果を明らかにしました。

新技術の概要

- 2月下旬から4月まで畝の上に、厚さ0.05mmのポリ塩化ビニル等で、間口1m、高さ60cm程度のトンネルを設置します。萌芽後の晴天時には裾を開けて換気します。
- トンネル被覆により、単価の高い6月までの収量が1～3割増加し、年間収量も1～2割程度増加することが期待できます。

活用場面

本技術は県下の露地栽培アスパラガス全体に適用できます。萌芽と収穫開始が早まり、収量の増加が見込まれるため、販売額の増加及び農家所得の向上が期待できます。